

明石駅周辺地区における取組について

明石公園内の旧市立図書館跡地については、利用者に親しまれ、明石公園の魅力をさらに高められるよう、利活用計画を策定し、新施設の整備に向けて取組を進めているところです。また、本市の玄関口である明石駅周辺の回遊性向上に向け、パピオスあかしからアスピア明石までの歩行者空間の整備に向けた検討を行っています。

つきましては、(仮称)旧市立図書館跡地地域交流センター建設基本設計(素案)及び明石駅周辺の回遊性向上に向けた歩行者空間整備の検討内容等について報告します。

1 (仮称)旧市立図書館跡地地域交流センターについて

(1) 基本設計(素案)

本年9月の総務常任委員会で報告しましたとおり、公募型プロポーザル方式により業者選定を行い、その提案(以下、「当初設計案」という。)をもとに、施設のコンセプトである「いつでもみんなをやさしく包む居場所」の実現に向け、利用しやすく、交流が生まれる施設とするために、ワークショップを実施しました。そこでいただいた意見を反映し、基本設計(素案)を作成しました。

① 当初設計案に対する意見

8月2日に実施したワークショップにおいて、参加者からいただいた意見のうち、賛同者の多かったものは以下のとおりです。

- オープン仕様で室内室外を一体として利用でき、様々なイベントに対応できる多目的ホール(10)
- 部屋数を多くしてほしい(6)
- 多目的ホールが空いている時は部活で使えるようにする(5)
- 森を残しながら自由に遊ばせてほしい(5)
- いろいろな年代の人が気軽に利用できるスペースを確保してほしい(レンタル部屋を設ける)現行案の2つは少ない(4)
- 多目的ホールの使い勝手を良くする。机、椅子の移動が簡単に出来るようにしてほしい(3)

※()内の数字は、ワークショップでの「いいねシール」の数

② 新施設の当初設計案からの変更点

	当初設計案からの変更点
多目的ホール 倉庫	空いている時は部活で使えるようにしてほしいなどの意見を踏まえ、当初設計案から少し大きくし、バレーボールコート1面が入るよう規模を拡大しました。また、バレーボール利用を想定し、西明石地域交流センターicottoと同じく高さ8.5mに変更します。 音楽・スポーツ備品、机・椅子等を収納する倉庫を配置します。
会議室	当初設計案の2つは少ないなどの意見を踏まえ、2室から4室に変更します。
大屋根広場	交流棟・ホール棟と一体利用が可能となるよう配置します。

③ 基本設計(素案)の概要

別紙「(仮称)旧市立図書館跡地地域交流センター建設基本設計(素案)」のとおり

	内 容
規模・構造	延床面積 1,000 ㎡未満(大屋根広場含む)、鉄骨造、平屋建て
機能	①ホール棟(多目的ホール・倉庫) ②交流棟(会議室・フリースペース・ギャラリー、コワーキング・学習スペース、トイレ・多目的トイレ・ベビーケアルーム、更衣室、事務室・倉庫) ③大屋根広場

(2) 今後のスケジュール

	2025 年度				2026 年度				2027 年度			
旧施設 解体			解体設計	工事 発注	解体工事							
新施設 建設			基本設計		実施設計	工事 発注	建設工事					

(3) 市民参画手続の実施

施設のコンセプトである「いつでもみんなをやさしく包む居場所」の実現に向け、利用しやすく、交流が生まれる施設とするため、基本設計(素案)について、以下の市民参画手続を実施し、いただいた意見を反映し、基本設計(案)としてとりまとめる予定です。

① 意見公募手続(パブリックコメント)

ア 実施期間 2025 年 12 月 15 日(月)～2026 年 1 月 28 日(水)

イ 意見の提出方法 インターネット(意見募集フォーム)、電子メール、郵送、ファックス、持参

② ワークショップ手続

ア 日 時 2026 年 1 月 24 日(土) 10 時 00 分～

イ 場 所 あかしこども広場多目的ルーム(パピオスあかし5階)

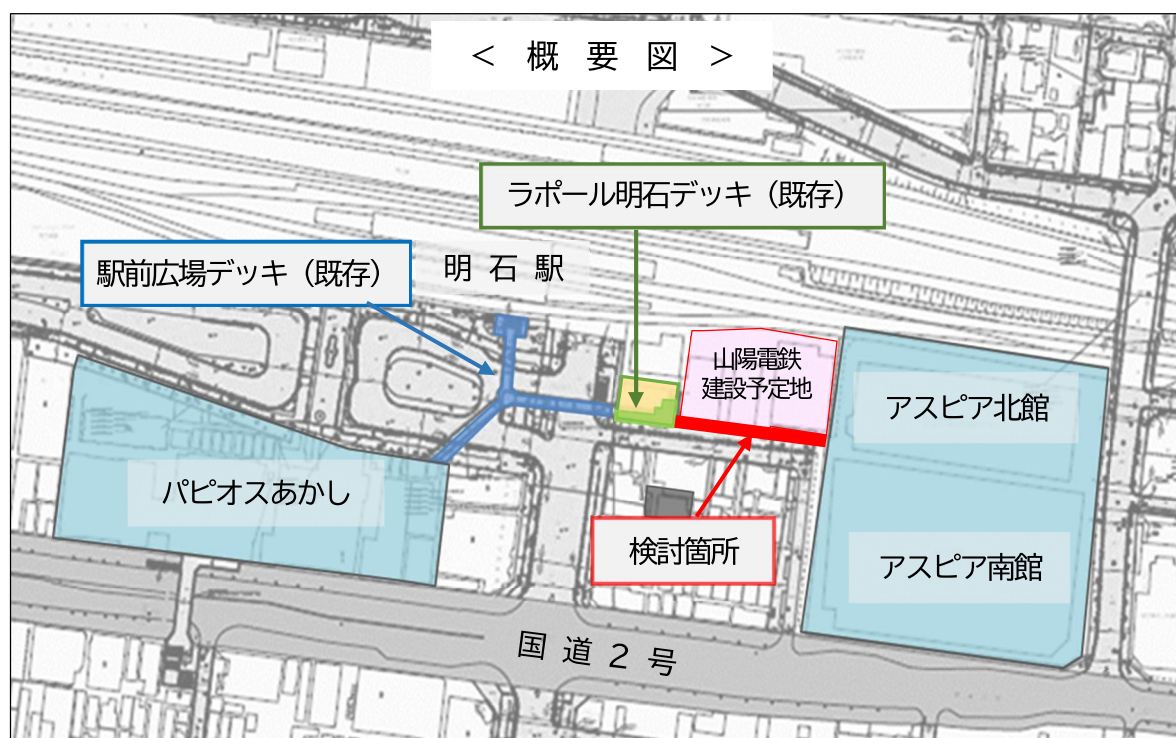
ウ 定 員 40 人程度

エ 申込期間 2025 年 12 月 15 日(月)～2026 年 1 月 18 日(日)

オ 申込方法 インターネット(参加申込フォーム)

2 歩行者空間の整備検討について

昨年12月の総務常任委員会で報告しました「明石駅前歩行者デッキの東側への延伸」について、現在の取組状況を報告します。



(1) これまでの検討内容

明石駅前歩行者デッキについては、現在、山陽明石駅から東側のラポール明石2階部分までが整備されています。この度、既存デッキからアスピア明石までデッキを延伸することについて、当該部分に建物を計画中の山陽電気鉄道株式会社（以下「山陽電鉄」という。）及び明石地域振興開発株式会社と協議し、接続箇所や接続方法、構造、法令上の課題などについて検討を行ってきました。

(2) 現在の検討状況

検討の結果、技術的な課題や法令上の規制等により、当初予定していたアスピア明石北館と南館を結ぶ連結デッキへの接続が困難であることが判明しました。接続先の代替案としてはアスピア明石北館の西側エレベーターホールが考えられますが、この場合の費用対効果や歩行者の流れなどを総合的に勘案し、1階部分での歩行者空間を整備することで、歩行者の利便性、回遊性を高め、更なる賑わいの向上を図りたいと考えています。具体的には、歩道状空地を山陽電鉄敷地内に整備することや、歩道上に雨よけを設置することなどについて検討を進めています。